

「異文化コミュニケーション 協働学修」

鈴木 利彦

(早稲田大学 商学学術院 准教授)



WASEDA University

ICTを活用した国際異文化交流と協働 学習の試み

- 科目名：「グローバルコミュニケーション・スキルズ」
 - 早稲田大学商学部1, 2年生対象「プロゼミ」
(3年生以上も在籍)
- 外国語学習、異文化コミュニケーション活動におけるICT、アクティブ・ラーニング、協働学習の導入、活用



「グローバルコミュニケーション・スキルズ」概要

■ 研究テーマ

ICTを活用した、英語と複数言語による「国際コミュニケーション技術」の研究

■ 活動内容

1. 【ICTを駆使した国際コミュニケーションの実践と研究】CCDLやCourse Navi (BBS)等を活用し、海外の大学と交流活動を行います。これまでに台湾・元智大学、米国・サンフランシスコ州立大学を中心として国際交流を実施してきました。
2. 【『スピーチアクト』と『ポライトネス』の研究】状況に応じてお互いの意図をやり取りできるスキルの養成を目指し、担当教員の専門分野の『スピーチアクト』（Request「依頼」、Apologize「謝罪」、Thank「感謝」など）と『ポライトネス』（言語の丁寧さ）に関して、演習を行います。
3. 【学術的・一般的教養の育成】国際社会で活躍するためには高水準の学術的・一般的教養が必須であり、その育成を目的としてアカデミック英語や時事英語等の演習を行います。
4. 【プレゼンテーション・ディスカッション技術の習得】上記テーマに関して、クラス内ならびに海外の大学と共同で発表と討議を行います。

■ 新ゼミ生へ

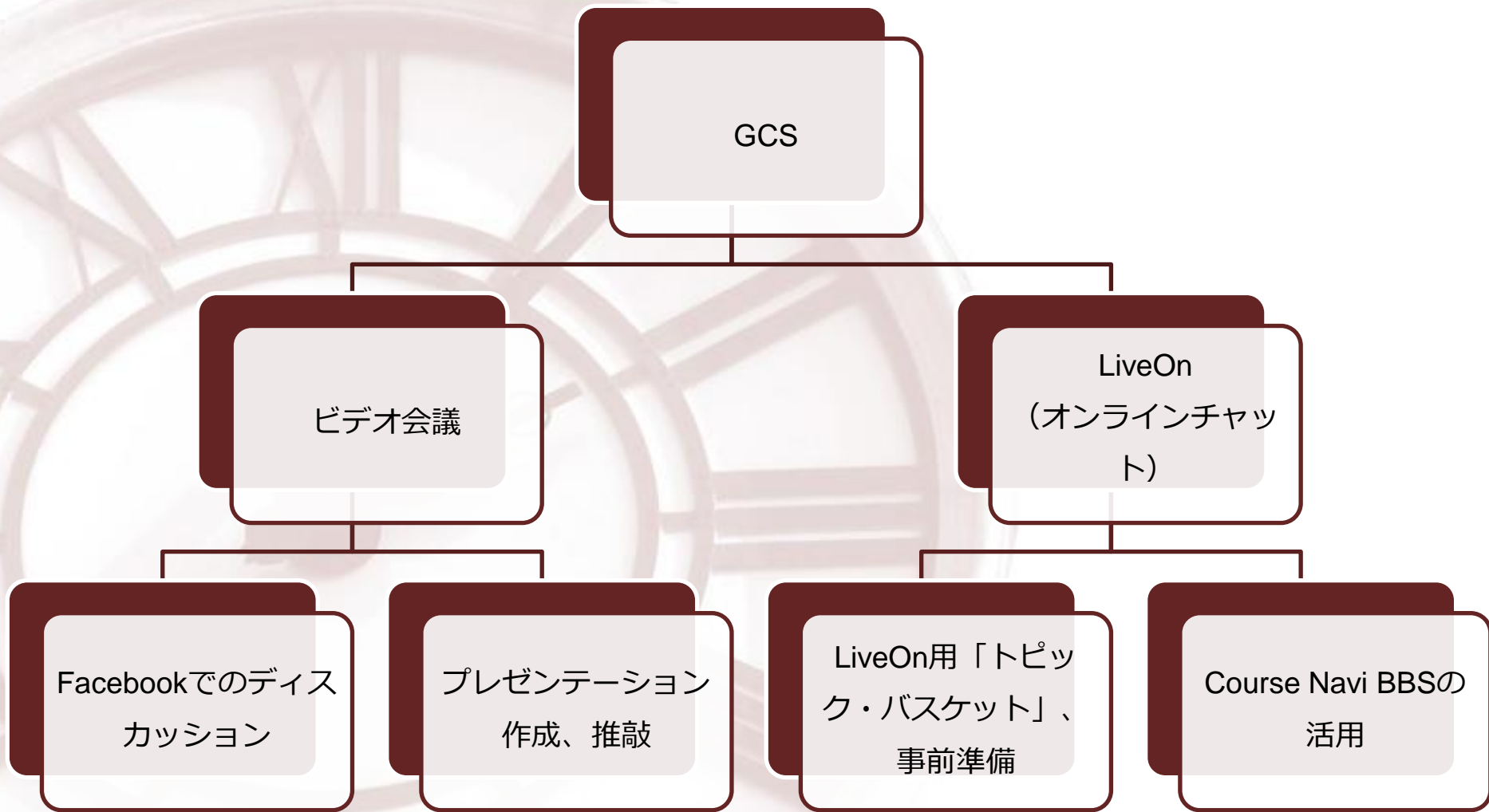
(1) 当ゼミでは国際交流活動を行うため、十分かつ積極的な出席・参加（最低限8割以上）、友好的な国際交流を実践する姿勢、英検2級程度以上の英語力が必須です。(2) CCDLは授業以外の時間の実施となります。(3) 参加希望者と共に交流先の大学訪問（台湾など）を行う予定です。（2014年夏季休業中）



使用したメディア

1. 早稲田大学ビデオ会議システム
2. 早稲田大学オンライン・チャットプログラム(LiveOn)
3. 早稲田大学LMS「コース・ナビ」掲示板
4. Facebook





課題とソリューション

□ビデオ会議

- 「プレゼン合戦」 にしたくない
- **Facebookでのディスカッション**

□オンラインチャット交流

- 「雑談交流」 で終わらせたくない
- **「トピック・バスケット」の活用、事前準備の促進**
- 交流内容を確実に報告・記録させたい
- **「コースナビ掲示板」の活用**

✓ アカデミック・タスクの設定

✓ アクティブ・ラーニングの促進

✓ 協働学習の実施



LiveOnの概要

- 全6回 (Week 1 – Week 6)
- 各グループ（4～5名程度）が第1回のセッションで、第2週以降に話し合うトピックを決める。(Wk3,4は課題設定あり)
- 事前学習（トピックに関する調査、英語表現の学習など）を行う。
- 司会進行／レポーターを決め、各セッションの運営と、事後の掲示板への報告を行う。（使用言語＝英語、他）



ビデオ会議の概要

- 第1回：10月13日（月）
 - Introduction
- 第2回：11月10日（月）
 - Preparation for the competition
- 第3回：12月8日（月）
 - Presentation Competition
- プレゼンテーションの内容
 - Doing businesses in Taiwan/Japan
 - Organizing a tour in Taiwan/Japan



ご清聴ありがとうございました。

連絡先：

toshisuz@outlook.com

